

小学生に伝える鳥の基礎知識 I

藤田英忠（東金市）

日 時：2015年5月20日（水）9：30～13：00

場 所：泉自然公園（千葉市）

講 師：谷 英男氏 参加者：11名

9：30 座学として、講師よりプリント等の配布物が配られた。

まず、プリントの日本各地の渡り鳥、〔旅鳥・留鳥・夏鳥・冬鳥〕のダイヤグラフが、日本全体・北海道・本州・九州と千葉県とが各グラフに示され、千葉県は旅鳥と留鳥が多いという、特色がある。

- ① 鳥の体型から解剖学的に入り、足とは？というところから、四肢、脚、指という特色を図示された。基本的に膝から上の脚の部分は腹部に納まっていて、見えない。手は手羽となり、飛翔に使う。足指は、4本指（基本形）、四指間に水掻き（ウ類）、第一指が退化または小さくなり残り三指間に水掻き（カモ類）、第三指に櫛爪（サギ類）、弁をもつ弁足（オオバン、カイツブリ）、第二から四指間の一部表皮がくっつき癒着しているカワセミなどの紹介

10：30 野外観察。環境を利用しながら生き、繁殖している鳥の数々の基礎知識、

子どもたちに関心と集中心を持たせていくノウハウを学ぶ。そのいくつかを上げると

- ① 出現したカラスでは、ハシブトカラス・ハシボソカラスの見分け方の数々、童謡に出てくる七つの子はヒナの数、蛇などの天敵を鳴きで子鳥にどう伝えているか。
- ② 美しい囀りのキビタキが現れると、ジョウビタキとの環境すみわけで低い常緑の林を好むキビタキ、明るい畑等を好むジョウビタキ。
- ③ 囀りの美しいのは、それだけメスを射止める競争相手が多い、テリトリー管理を常にしていなくてはならない同種間競争のため。だから同種のオスメスが一对一なら、囀りは美しくなくてよい。
- ④ 谷氏は巣の観察をよくされている方で、巣の中の卵の形や模様は巣の場所や形状と関係がある。

ところどころで立居どまり、手持ち白板を利用しながら、時にグッズを利用しながら、子どもたちを講師の方に集中させる手ほどきを紹介。そのいくつかは

- ① 漢字にみられる鳥の話「鳥」と「隹」この両方ともトリを頭わす。「隹」の例は雀（スズメ）、雉（キジ）、隼（ハヤブサ）、鷹は両方ある。カラスは鴉、烏
- ② くちばしの役目にはグッズをだしながら、箸やスプーンの役目以外に羽づくろいのときに櫛の役目がある。
- ③ 航空力学を専攻された谷氏の面目躍如たる、鳥と航空機の飛翔の力学はベルヌーイの法則で同じであることを白板を使いわかりやすく説明。

他にも数々あるが、次回に持ち越しと、期待を持たせて13時に終わった。

谷氏の豊富な実践的知識に一同は感嘆し、多くの基礎知識を学ぶことが出来た。感謝。

これらを取捨選択しSSNでは子どもたちに伝える鳥知識とスキルを整理しなくてはならない。

